



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月10日

上場会社名 株式会社サクラ

上場取引所 東

コード番号 6303 URL <http://www.sasakura.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笹倉 敏彦

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 総務部長 (氏名) 中野 朋宏

TEL 06-6473-2131

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,226	14.4	298		10	94.5	186	
2022年3月期第2四半期	4,936	9.6	188	31.0	191	87.8	115	161.4

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 31百万円 (%) 2022年3月期第2四半期 664百万円 (339.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	60.78	
2022年3月期第2四半期	37.64	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	32,569	22,091	67.6
2022年3月期	30,112	22,241	73.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 22,019百万円 2022年3月期 22,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		40.00	40.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	3.1	200	63.8	400	44.9	200	64.0	65.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	3,113,800 株	2022年3月期	3,113,800 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	51,024 株	2022年3月期	52,539 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	3,061,865 株	2022年3月期2Q	3,062,367 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想につきましては、現時点において合理的と判断するデータに基づいて作成しており、様々な不確定要素が内在しているため、実際の業績は予想数値と異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報の(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下、当第2四半期という）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けつつも、徐々に社会経済活動の制限が緩和され、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られました。しかしながら、世界的な原材料・エネルギー価格の上昇や金融不安の再発などにより、先行きは依然として不透明な状況が続くものと予想されます。

このような状況の中、当社グループは、2019年度を初年度とする中期経営計画に基づき、業務の改革と生産性向上を通じて、お客様の期待に応える企業を目指しております。その結果、当第2四半期における受注高は、全てのセグメントで向上し、62億48百万円（前年同期比41.0%増）となりましたが、前期の受注が低迷したことにより、売上高は42億26百万円（同14.4%減）、受注残高は155億85百万円（同38.7%増）となりました。

損益面につきましては、原材料価格の高騰により採算悪化が見込まれる案件に対して受注損失引当金を計上したことから、営業損益は2億98百万円の損失（前年同期は1億88百万円の利益）となりました。経常損益は、営業外収益として為替差益を2億83百万円計上したことにより10百万円の利益（前年同期比94.5%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純損益は1億86百万円の損失（前年同期は1億15百万円の利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 船舶用機器事業

世界的な貿易量の増加により海運市況が好転し、世界の新造船受注量が増加に転じた影響を受け、受注高は13億13百万円（前年同期比33.7%増）となり、売上高は11億72百万円（同11.8%増）、営業利益は1億23百万円（同61.3%増）、受注残高は14億53百万円（同45.2%増）となりました。

② 陸上用機器事業

都市ごみ焼却プラント市場の受注が堅調に推移していることから受注高は13億41百万円（同67.4%増）、売上高は当第2四半期における売上対象案件が少なかったため9億99百万円（同27.7%減）となりました。営業損益は、原材料価格の高騰により採算悪化が見込まれる案件に対して受注損失引当金を計上したことにより2億95百万円の損失（前年同期は1億8百万円の利益）、受注残高は43億61百万円（前年同期比27.4%増）となりました。

③ 水処理装置事業

世界的な半導体需要拡大を受け、中国・台湾半導体業界に対する原材料メーカー向け蒸発濃縮装置の需要が増加したことから、受注高は20億38百万円（同29.7%増）となりました。中東における海水淡水化装置の受注は依然として低迷が続いており、売上高は8億45百万円（同31.5%減）となり、営業損益は2億13百万円の損失（前年同期は1億80百万円の損失）、受注残高は75億54百万円（前年同期比37.2%増）となりました。

④ 消音冷熱装置事業

データセンター向けや都市ごみ焼却プラント向け騒音防止装置の受注が好調に推移し、受注高は15億46百万円（同44.8%増）となりましたが、売上高は12億円（同5.0%減）、営業利益は80百万円（同54.9%減）、受注残高は22億15百万円（同69.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は325億69百万円となり、前期末と比べて24億57百万円増加しました。その主な内訳は、受取手形、売掛金及び契約資産が15億90百万円減少したものの、現金及び預金が26億93百万円、仕掛品が15億29百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債合計は104億77百万円となり、前期末と比べて26億6百万円増加しました。その主な内訳は、前受金が23億69百万円、受注損失引当金が2億95百万円それぞれ増加したことによるものです。

純資産合計は220億91百万円となり、前期末と比べて1億49百万円減少しました。その主な内訳は、為替換算調整勘定が2億52百万円増加したものの、利益剰余金が3億8百万円、その他有価証券評価差額金が88百万円それぞれ減少したことによるものです。

また、キャッシュ・フローの状況については、次のとおりです。

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前期末に比べ26億93百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には119億9百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権の減少等により、資金は33億38百万円の増加（前年同期は17億77百万円の増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出等により、資金は1億63百万円の減少（前年同期は22百万円の増加）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出や配当金の支払額等により、資金は6億52百万円の減少（前年同期は6億円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年8月4日に公表いたしました予想値から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,216	11,909
受取手形、売掛金及び契約資産	9,668	8,077
有価証券	-	100
製品	9	7
仕掛品	4,148	5,678
原材料及び貯蔵品	545	652
前渡金	152	30
前払費用	56	100
その他	423	222
貸倒引当金	△3	△4
流動資産合計	24,216	26,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,973	6,066
減価償却累計額	△4,574	△4,625
建物及び構築物 (純額)	1,398	1,441
機械装置及び運搬具	2,870	2,914
減価償却累計額	△2,618	△2,683
機械装置及び運搬具 (純額)	252	230
工具、器具及び備品	845	858
減価償却累計額	△814	△828
工具、器具及び備品 (純額)	30	29
土地	1,738	1,758
リース資産	111	132
減価償却累計額	△53	△67
リース資産 (純額)	57	64
建設仮勘定	10	48
有形固定資産合計	3,488	3,572
無形固定資産		
リース資産	34	29
ソフトウェア仮勘定	-	40
その他	12	16
無形固定資産合計	46	85
投資その他の資産		
投資有価証券	2,133	1,907
長期前払費用	27	19
繰延税金資産	153	162
その他	68	68
貸倒引当金	△21	△21
投資その他の資産合計	2,360	2,136
固定資産合計	5,895	5,794
資産合計	30,112	32,569

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,394	1,654
1年内返済予定の長期借入金	954	1,201
リース債務	25	24
未払費用	198	237
未払法人税等	171	149
前受金	1,713	4,082
賞与引当金	325	307
役員賞与引当金	18	1
工事補償等引当金	235	251
受注損失引当金	99	394
その他	456	391
流動負債合計	5,593	8,696
固定負債		
長期借入金	630	108
リース債務	48	50
繰延税金負債	144	135
退職給付に係る負債	1,306	1,335
役員退職慰労引当金	28	31
長期未払金	107	107
資産除去債務	12	12
固定負債合計	2,277	1,780
負債合計	7,870	10,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,220	2,220
資本剰余金	1,409	1,408
利益剰余金	17,696	17,387
自己株式	△159	△154
株主資本合計	21,166	20,862
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	710	622
繰延ヘッジ損益	△14	△37
為替換算調整勘定	323	575
退職給付に係る調整累計額	△1	△2
その他の包括利益累計額合計	1,018	1,157
非支配株主持分	56	72
純資産合計	22,241	22,091
負債純資産合計	30,112	32,569

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	4,936	4,226
売上原価	3,568	3,204
売上総利益	1,367	1,022
販売費及び一般管理費		
運賃	112	117
販売手数料	6	6
広告宣伝費	1	5
貸倒引当金繰入額	△0	0
役員報酬	67	70
従業員給料及び手当	426	440
賞与引当金繰入額	93	118
役員賞与引当金繰入額	1	1
福利厚生費	105	120
退職給付費用	33	35
役員退職慰労引当金繰入額	2	2
株式報酬費用	3	3
旅費及び交通費	24	34
賃借料	47	44
工事補償等引当金繰入額	8	28
研究開発費	39	53
減価償却費	20	21
その他	183	213
販売費及び一般管理費合計	1,179	1,320
営業利益又は営業損失(△)	188	△298
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	19	28
為替差益	0	283
その他	6	9
営業外収益合計	27	324
営業外費用		
支払利息	22	14
その他	0	1
営業外費用合計	23	15
経常利益	191	10
特別利益		
投資有価証券売却益	37	-
特別利益合計	37	-
特別損失		
固定資産除却損	-	1
特別損失合計	-	1
税金等調整前四半期純利益	229	8
法人税、住民税及び事業税	112	164
法人税等調整額	4	21
法人税等合計	117	185
四半期純利益又は四半期純損失(△)	111	△176
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3	9
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	115	△186

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	111	△176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	15	△88
繰延ヘッジ損益	△1	△23
為替換算調整勘定	534	258
退職給付に係る調整額	3	△1
その他の包括利益合計	552	145
四半期包括利益	664	△31
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	667	△46
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	229	8
減価償却費	96	104
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△57	△18
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△5	△16
工事補償等引当金の増減額(△は減少)	△17	15
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△18	295
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△78	11
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	2	2
受取利息及び受取配当金	△20	△31
支払利息	22	14
為替差損益 (△は益)	378	△501
投資有価証券売却損益 (△は益)	△37	-
固定資産除却損	-	1
売上債権の増減額 (△は増加)	2,665	5,071
棚卸資産の増減額 (△は増加)	126	△1,623
仕入債務の増減額 (△は減少)	△951	27
その他	△395	130
小計	1,939	3,492
利息及び配当金の受取額	20	32
利息の支払額	△22	△14
法人税等の支払額	△159	△171
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,777	3,338
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	100	100
有形固定資産の取得による支出	△34	△114
無形固定資産の取得による支出	-	△45
投資有価証券の売却及び償還による収入	44	-
投資有価証券の取得による支出	△106	△103
その他	18	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	22	△163
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△431	△510
リース債務の返済による支出	△25	△17
自己株式の取得による支出	△20	-
配当金の支払額	△122	△122
非支配株主への配当金の支払額	-	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△600	△652
現金及び現金同等物に係る換算差額	41	170
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,241	2,693
現金及び現金同等物の期首残高	7,027	9,216
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,268	11,909

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	船舶用 機器事業	陸上用 機器事業	水処理 装置事業	消音冷熱 装置事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,048	1,383	1,233	1,263	4,929	6	4,936
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,048	1,383	1,233	1,263	4,929	6	4,936
セグメント利益 又は損失(△)	76	108	△180	178	183	4	188

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	船舶用 機器事業	陸上用 機器事業	水処理 装置事業	消音冷熱 装置事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,172	999	845	1,200	4,218	7	4,226
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	1,172	999	845	1,200	4,218	7	4,226
セグメント利益 又は損失(△)	123	△295	△213	80	△303	5	△298

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。